

駐日米大使、横田で日本産ホタテの支援を表明 *US Ambassador showcases Japanese scallops at Yokota*

November 15, 2023

By Airman 1st Class Natalie Doan
374th Airlift Wing Public Affairs

ラーム・エマニュエル駐日米大使は10月31日、横田基地のカミサリーを訪れ、同基地への日本産水産物の初入荷に立ち会い、禁輸措置で影響を受けている日本の水産物に対する米国の支援を改めて表明した。

横田基地でエマニュエル氏は、米軍の店やレストランで日本産の水産物を販売、提供することを明らかにした。その先駆けとなる北海道産のホタテが横田のカミサリーで販売される。基地内で米軍兵士とその家族が日本の水産物を購入できるのは初めてとなる。

「横田基地のカミサリーで日本の水産物を販売できることを嬉しく思う」と、マシュー・ウイテカー国防総省カミサリー太平洋地域局長は述べ、「料理のバリエーションを広げ、また日本との絆も強化される。国内のカミサリーで買い物客の選択肢を増やせることを嬉しく思う。基地コミュニティの反応も楽しみにしている」と語った。

横田基地を訪問したエマニュエル氏は、自らも日本の水産物を食し、品質と安全性を強調した。

そして「アメリカの政府や軍の高官にも日本産水産物を提供してきた」と話し、「米国は日本の友人とともに立ち向かう」と述べた。

エマニュエル氏は挨拶の後、日米の関係者とともに横田基地のカミサリーでの日本産水産物の販売開始を記念するテープカットを行い、他の賓客とともにホタテを試食した。

「協力と連携の最高の例だ」とエマニュエル氏は表明し、「米国と日本は同盟関係を越えた友人だ。物事がうまくいっている時よりも、困った時こそ友情が大切だ」と述べた。

